交通安全ニュース2025ちば

令和７年６月号
千葉県警察本部

毎月更新中！

千葉県警察ホームページ

Monthly Topics

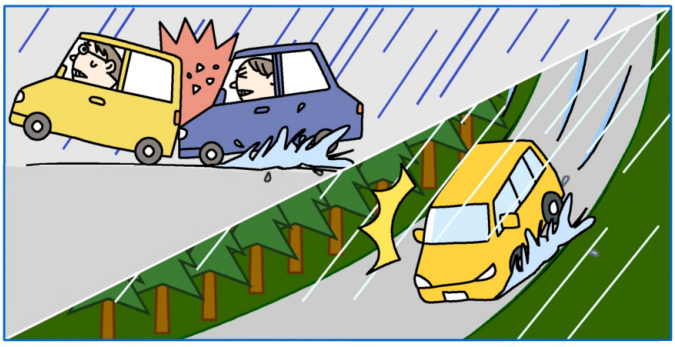
雨の日の交通事故防止

千葉県警察シンボルマスコット シーポック

まもなく、梅雨や台風などの影響によって大雨の降りやすい季節がやってきます。雨が降った日の道路の特徴を知って、交通事故にあわない・起こさないように注意しましょう。

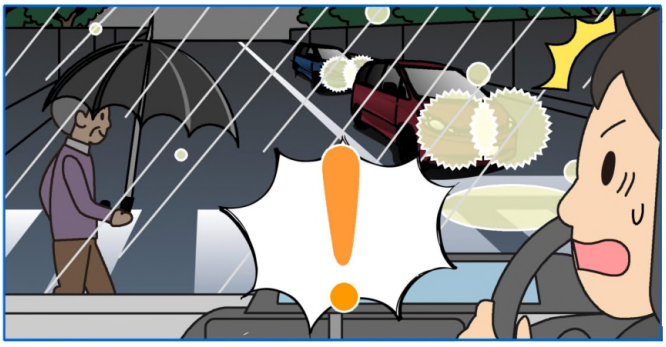
特徴① 路面が濡れて滑りやすい

- ブレーキをかけたときに、乾いた路面に比べて車が停止するまでの距離が長くなります。止まり切れず、他の車などに追突する危険も！
- 急発進、急ハンドル、急ブレーキはスリップや横転の原因となります。スピードを出しすぎていると、さらにスリップの危険が増大します。



特徴② 周囲が見えにくい

- 日中でも薄暗いため、歩行者や自転車、道路の障害物など周囲の様子が見えにくくなります。
- 車のガラスの曇りや水滴の付着、夜間は濡れた路面にライトが反射するなどして、視界が悪くなります。
- 歩行者は傘を差すことによって、視界が狭くなり車の接近に気づきにくくなります。



雨の日の交通事故を防ぐために

車を運転する方は

- ☐ 速度を落として、車間距離を十分に空けましょう
- ☐ 薄暗く感じたら早めにライトを点灯して、歩行者・自転車などの発見に努めるとともに、自分の車の存在を周囲に知らせましょう
- ☐ タイヤやワイパーの摩耗に注意し、常に整備しておきましょう

自転車を運転する方は

- ☐ 傘差し運転はやめましょう！
  傘で視界が遮られるのに加え、不安定な片手運転となるので大変危険です
- ☐ 自転車も早めにライトを点灯しましょう

歩行者の方は

- ☐ 傘を差すときは前が見えるようにして、車などが来ていないか周囲の安全をよく確認しましょう
- ☐ ドライバーから見えやすいように、明るい色の服装や反射材を身につけましょう